

検査部 採血室・検体検査室を リニューアルしました

患者さんがより快適に検査を受けられるよう、また、検体検査の機能強化、効率化をはかるため、採血室、検体検査室の改修工事、検査機器の入れ替えなどを行いました。



採血室をより快適に

採血室は、患者さんがより快適に検査を受けられるように、明るさ、清潔さを意識し、スペースも広くしました。さらに、入口と出口を区別した動線にし、密にならない工夫を行い、各採血台にはアクリルシールドを設置して、新型コロナウイルス感染対策も強化しました。

災害時を想定した対策

東日本大震災の際に検査の実施に影響が出てしまったという苦い経験などから、災害時を想定した対策も強化しました。緊急検査エリアには免震設備を取り入れ、大きな地震があった場合でも、緊急検査については止めることなく行える体制を整えています。

検査の効率化と連携強化

検体検査室では検体の搬送ラインを一新し、付随する分析装置の多くを新しくしました。搬送ライン全体をコンパクトにし、機能が重複していた機器を集約化したほか、試薬の見直しも行い、検査の効率化と大幅なコストダウンをはかりました。また、配線や一部の搬送ラインを床下に埋め込むなどして、スタッフが働きやすい動線を確保し、互いに連携しやすくしました。さらに、人員配置の見直しを行ったことで、新型コロナウイルスへの対応として設置されている「かかりつけ発熱外来」で抗原検査や検体採取を行う人員を、安定的に確保することができています。



遺伝子検査室を拡充

当院はがんゲノム医療中核拠点病院に指定されており、これまで別棟にあった「がん遺伝子パネル検査」の設備を検体検査室エリア内の遺伝子検査室に移設し、院内完結型の検査を実施する体制を整備中です。また、中核拠点病院に求められている人材育成、研究活動にも対応できる検査室の構築をめざしています。

